

主な御意見	計画の対応方向等
○ 山形県スポーツ推進条例では、スポーツを「する」「みる」「きく」「ささえる」の視点を挙げているが、計画概要（中間案）では「する」視点が強く打ち出されており、「ささえる」喜びや充実感を醸成させ、スポーツへの関与を推進する具体策も必要ではないか。	基本方針1(1)③等の中で、スポーツを「ささえる」施策について記載
○ スポーツを広い視点での「身体運動文化」として捉えた施策展開が必要ではないか。例えば、花笠音頭から発生した「花笠まつり」や村山市の居合道など、地域資源として既にある身体運動文化に目を向けた施策の方向性も考えることで、観光資源とスポーツの推進とがリンクしていけるように思う。スポーツ推進の目的の一つに身体運動文化の活用・継承・発展・アピール等が含まれていくことは、本県のスポーツ推進の「する」「みる」「きく」「ささえる」交流人口の拡大に寄与できると考える。	基本方針4(2)【現状と課題】の中で、身体運動文化であるスポーツの地域資源としての活用について記載するとともに、基本方針4(2)②等に関連する施策を記載
○ スポーツドクター、スポーツトレーナー、指導者も含めた専門職の育成だけでなく、育成後のアップデートも必要ではないか。	基本方針1【現状と課題】の中で、「継続的なアップデート」の必要性について記載するとともに、基本方針1(1)③等に関連する施策を記載
○ 「日スポ公認資格取得者数」、「地域クラブ等指導者研修受講者数」、「リーダーバンク登録者数」や「総合型クラブ利用者数」、子どもの体力向上に係る数値等も参考指標として設定してはどうか。	各数値は担当課で把握・分析し、施策に活用していく予定
○ スポーツボランティアに関する取組み等を記載する必要があるのではないか。	スポーツボランティアに関する取組みについて、基本方針1(1)③等に記載
○ 「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」の利活用について記載してはどうか。	基本方針1の中で、「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」について記載
○ 基本方針2(2)「学校におけるスポーツ活動の充実」に関し、昨年度本県で49年振りに開催された全国学校体育研究大会山形大会の成果を踏まえた表現にしてはどうか。	基本方針2(2)【現状と課題】の中で、第62回全国学校体育研究大会山形大会の内容、成果について記載
○ 基本方針3の中で、障がいのあるパラアスリートへの支援やパラリンピックに向けた取組み等も実施することを検討してはどうか。	基本方針3(2)等の中で、パラリンピック等を目指すパラアスリートに関する施策を記載
○ 年齢区分別のスポーツ実施率など詳細の分析について記載してはどうか。	資料編の中で、年齢区分別のスポーツ実施率等を記載
○ 国民スポーツ大会の順位と同様に、全国障害者スポーツ大会についても参考指標の設定を検討してはどうか。	具体的な指標は設定しないが、基本方針4(1)等の中で、全国障害者スポーツ大会への県選手団派遣に対する支援等を記載
○ 障がい者が地域でスポーツができる環境の整備状況を把握し、目標値を設定する必要があるのではないか。	「障がい者スポーツ教室の参加人数」を参考指標として設定
○ 基本方針4(1)に障がい者スポーツについて特化して提示されているが、基本方針1～3全てに障がいのある方も含めた誰もが参加できる観点での機会の創出と環境整備が必要ではないか。	基本方針1を中心に、（障がいの有無に関わらず、）体力、年齢、適性、健康状態等に応じ、生涯にわたってスポーツに親しむ機会の提供、環境整備等に係る施策を記載
○ YAMAGATAドリームキッズに係る参考指標について、ドリームキッズだけではなく全競技のすべての国際大会・全国大会入賞数等の指標も設定したほうが良いのではないか。	新たに「オリンピック・パラリンピックのメダリスト輩出」を参考指標に追加